

# 広報 えびの

11

広報えびの 11月号  
2010.November  
No.529  
平成22年11月20日発行



特集 **えびの市誕生 40 年の軌跡** (P 2 ~ P 9)

えびのの元気を大阪で発信 (P 10 ~ P11)

予算の執行状況を公表します (P 12 ~ P13)

えびの市制施行 40 周年



ありがとう！  
夢をつないで 40 年

## えびの市 40年のあゆみ

年	月	日	西暦	できごと
昭和	41年	11月3日	1966	飯野・加久藤・真幸の3町が合併し、「えびの町」誕生
43年	2月21日	1968	えびの地震起こる（被害額 65 億円）	
45年	12月1日	1970	市制を施行「えびの市」誕生	
47年	7月6日	1972	まさき山津波発生（死者 4 人、被害額 24 億円）	
48年	6月18日	1973	市民憲章制定	
51年	3月4日	1976	九州縦貫自動車道（宮崎線えびの～高原間 28.5 km）開通	
53年	12月1日	1978	市の木「きりしまあかまつ」市の花「えびね」を制定	
54年	10月15日	1979	第 34 回国民体育大会弓道競技開催	
55年	2月1日	1980	えびの市民歌・えびの音頭を制定	
56年	10月1日	1981	九州縦貫自動車道（鹿児島線えびの～栗野間 15.7 km）開通	
56年	12月20日	1981	陸上自衛隊えびの駐屯地開設	
58年	11月3日	1983	第 1 回「ふるさと市民文化祭」開催	
59年	10月27日	1984	総合文化施設建設起工式	
60年	12月21日	1985	文化センター完成	
63年	7月30日	1988	第 1 回「田の神さあどり大会」開催	
平成	3年	5月1日	1991	白鳥森林公園オープン
3年	11月2日	1991	海上自衛隊潜水艦用超長波（VLF）送信所完成	
4年	8月2日	1992	全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技開催	
5年	8月6日	1993	記録的集中豪雨による堂本井堰崩壊湯田橋一部欠落	
5年	11月25日	1993	九州縦貫自動車道加久藤トンネル開通	
6年	4月21日	1994	えびの市国際交流センター開館（ベルトン市と姉妹都市締結）	
6年	5月20日	1995	えびの市民図書館・歴史民俗資料館完成	
7年	7月27日	1995	九州縦貫自動車道全線開通	
8年	4月1日	1996	飯野・加久藤・真幸 3 商工会が合併「えびの市商工会」発足	
9年	8月5日	1997	美化センター・一般廃棄物最終処分場完成	
10年	11月5日	1998	日米共同訓練実施（霧島演習場）	
11年	3月27日	1999	高齢者住宅福祉機能施設「ふれあい館」完成	
12年	7月4日	2000	真幸地区向江排水機場完成	
13年	4月26日	2001	えびの IC～えびの PA 間 4 車線完成	
13年	7月11日	2001	ベルトンオートキャンプ場オープン	
14年	4月1日	2002	えびの市女性消防団発足	
16年	7月20日	2004	新上真幸橋開通	
16年	8月4日	2004	みやまきりしまロード開通	
17年	9月6日	2005	台風 14 号上陸（被害額約 4 億円）	
18年	3月15日	2006	グリーンパークえびのオープン	
18年	4月18日	2006	狗留孫大橋開通	
18年	7月21日	2006	記録的大雨 7 月豪雨災害（被害総額 14 億 3,419 万円）	
19年	2月20日	2007	霧島演習場に市街地訓練場完成	
22年	4月28日	2010	市内で口蹄疫が発生	
22年	9月14日	2010	霧島山が日本ジオパークに認定	



昭和 43 年 2 月 21 日、えびの地震で倒壊した家屋



昭和 47 年 7 月 6 日、まさき山津波の被害を受けた真幸駅



平成 5 年 11 月 25 日、九州縦貫自動車道加久藤トンネル開通



平成 18 年 3 月 15 日、グリーンパークえびのオープン



昭和 45 年 12 月 1 日、万歳三唱で新市の誕生を祝う

# えびの市誕生 40年の軌跡

昭和45年にえびの市が誕生してから今年で40年を迎えます。えびの市誕生から現在までの動きを、写真などで紹介します。

### 【えびの市誕生】

昭和41年11月3日に飯野町、加久藤町、真幸町の3町が合併。「えびの町」が誕生しました。それから4年後の昭和45年12月1日に市制を施行し「えびの市」が誕生しました。えびの町誕生後、昭和43年2月21日のえびの地震を乗り越えて、えびの市の誕生でした。

### 【統計データでみる40年】

人口の推移でえびの市を見ると、昭和45年は、2万8972人（昭和45年国調）だった人口が、平成12年は、2万4906人（平成12年度国調）、平成22年は、2万1452人（平成22年11月1日現在）と年を追うごとに減少しています。高齢化率は、昭和45年が10・6%に対し、平成22年（平成22年4月1

日現在）では34・44%と市民3人に1人が65歳以上となっています。

えびの市の基産業である農業は、昭和45年は、5251戸あった農家数が、平成12年は、3156戸、平成17年度では、2982戸と減少しています。

肉用牛の生産は、昭和45年は、7314頭、平成12年は、2万2000頭、平成18年は、2万5900頭と増加しています。これは、経営規模の拡大や企業畜産の参入などによるものです。

### 【それぞれの歩み】

写真やインタビューで、次のページからは、40年前と今、どのような変化があったのか振り返ります。また、これからのえびの市を担う子どもたちにも話を聞いてみました。

# 写真で振り返る えびのの

## 【装い新たに新庁舎①】

昭和49年4月14日、総事業費3億8330万円、新庁舎の落成式が行われました。また、落成と同時に「市旗・市章」も制定され、えびの市の第一歩となりました。

式典終了後には、この落成を祝って、約2000人の観客がつめかけ、40年ぶりに復活した西郷区の「三段打分け」を始め、数々の郷土芸能や民謡、舞踊で盛り上がりました。

## 【みんなで踊ったえびの音頭②】

昭和55年4月17日、加久藤中学校の体育館で初めての「えびの音頭」の踊りの講習が行われました。

この講習には、市民の参加者ら約100人が集まり、2時間みっちり指導を受け、参加者全員がマスターしました。

## 【えびの市初の大会③】

昭和58年9月18日、えびの市で初の「宮崎県サイクリングラリー」が行われました。コースは、真幸ぎき

## 【収穫の秋に感謝④】

平成6年11月6日、えびのの大自然と農業のすばらしさを感じようとNEWじよいふる田んぼ・えびのが開催されました。

池島橋南側田んぼを会場に家族づれら1500人でにぎわいました。

## 【アメリカの楽しさを高原に⑤】

平成13年7月8日、矢岳高原ベルトンオートキャンプ場でオープニングセレモニーが行われました。キャンプ場は、7月1日にオープンしました。セレモニーは、完成の記念と施設の公開を兼ねて行われました。

セレモニーでは、カントリーウエスタンバンドの演奏などが行われ、参加者はアメリカの雰囲気を楽しんでいました。

## 【えびのが撮影の舞台に⑥】

平成13年8月からえびので「美しい夏キリシマ」の映画のロケが市内各地で行われました。

この映画には、延べ1000人のエキストラが出演しました。約半数がえびの市民です。その内兵隊役では延べ400〜500人が出演しました。



①旧庁舎と新庁舎  
②加久藤中学校でのえびの音頭練習  
③えびの市初サイクリングラリースタート  
④白鳥で開催されたヤングフェスティバル  
⑤白鳥初詣力自慢大会で力自慢に挑戦する参拝者



河川敷スタートの八幡丘公園(昼食)折り返しで、健脚コースが55・5キロ、一般コースが39キロで、市内外から約2000人が参加しました。

## 【白鳥が燃えた④】

昭和61年8月20日、踊って語って燃えた、ヤングフェスティバルin白鳥が開催されました。

夏の夜を市民総出で楽しんでもらい、市の活性化を図ろうと、青年連絡協議会が主催したもので、市民約400人が参加しました。

全員で輪になって踊ったり、夜遅くまで21世紀のえびのを語り合うなど田の神さあのみちづくりへのスタートとなりました。

## 【力自慢が集結⑤】

平成2年1月1日、白鳥神社初詣力自慢大会が行われました。

白鳥神社に伝わる大砲の弾を肩まで持ち上げるもので、多くの参拝者が挑戦。5人の方が見事に成功しました。



⑥ NEW じよいふる田んぼでの綱引き大会  
⑦ 矢岳高原ベルトンオートキャンプ場オープニング  
⑧ 「美しい夏キリシマ」に出演した市内のエキストラ



江藤正道さん（農家）59 歳

20 歳の時、親の跡を継ぎ農業を始めました。養豚、養蚕を行い現在は生産牛を行っています。当時を振り返るといろいろな苦労があり、夫婦二人三脚で乗り越えてきました。大きな病気もなくやってこられたのは、妻のお陰です。体の続く限り農業を続けたいです。今後は、都城にいる息子に後を継いでもらえれば…



米価引き上げ運動を行う江藤さん

# 歩み道

市が市制 40 周年を迎えると同様、えびの市民も 40 年の歩みを重ねてきました。ここでは、いろいろな業種の市民に 40 年前と現在を当時の写真とともに語ってもらいました。



西吉道彦さん（飲食業）63 歳

現在の場所に飲食店を構えるようになったのは、昭和 53 年からです。昭和 42 年に父親の後を継ぎました。

大相撲の巡業が市に来た時は、力士の食べっぷりに、本当に驚かされました。

当時と今を比べると、店舗の減少や官公庁の出先機関などがなくなり、加久藤の町も寂しくなりました。



現在の場所に移転した時の店舗



当時の 1 分団 7 部での団員との写真（右下）

遠目塚光治さん（製材業）61 歳

消防団に入団するきっかけは、先輩の誘いもありましたが、えびの地震を経験した事が決め手です。今では、消防団歴 43 年になります。

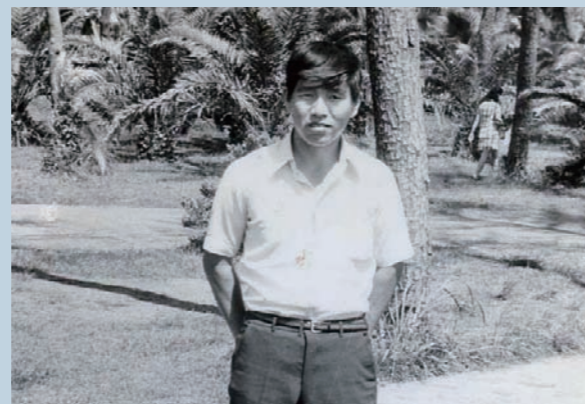
ここまでやって来られたのは、いろいろな人との出会いや家族の支えがあったからこそです。今後も消防団活動を通じ地域に貢献していきたいと思っています。



堀義治さん（農家）63 歳

高校を卒業し、跡を継いで農業を始めましたが、収入が少なく会社勤めも農業もしてきました。本格的に農業を始めたのが 20 年ぐらい前からです。当時は農業経営も苦しかったです。一番の苦労は、1 人娘である妻をもらいに行く事でした。

今は、息子も手伝ってくれています。これからも元気で頑張りたいです。



会社勤めをしていた時、旅行で行った鹿児島



トヨタ自動車で働いていたころの迫田さん

迫田黙太郎さん（石油小売業）64 歳

今は、機械化が進み給油は簡単になりましたが、手でガソリンの給油を行った時もありました。オイルショックの時は、朝 7 時に開店し、朝 10 時に閉店をしました。昔と今を比べると今の方がガソリンの値段が週単位で変動し大変です。元気が続く限り、地域に根ざした仕事をしていきたいと思っています。



熊本ハツ子さん（農家）79 歳

昭和 26 年に結婚し、西内堅の開拓を夫と一緒にしてきました。来年で 60 年になります。原野を開くときは手作業で、出てきた石を積んでは堀り、積んでは掘りで大変でした。

夫も私も高齢で、棚田の管理など、難しくなるかもしれません。夫婦二人で元気が続く限りやっていきたいです。



家の前でニワトリと



休み時間中に撮った写真（写真中央）

下原サミさん（主婦）83 歳

昭和 27 年の結婚を機に、教職員を辞め、農業をしていました。

ちょうど 40 年前には、たまたま臨時講師の話があり飯野小学校に勤務していました。当時は車がなくバス通勤で大変でした。

今は、同僚だった朝倉先生と年賀状のやり取りをしています。





**本田 瑛之 さん**  
【尾八重野分校 6 年】

父がパソコンなどをつなぐのを見て、すごいなと思い、将来、車や機械などを開発する職業になれたらいいなと思っています。具体的には決まっていません。中学校、高校へと進学し、本当に就きたい職業を見つけていきたいと思っています。えびのは米もおいしく、自然豊かで、人も温かいところです。そんなえびのが僕は好きです。将来は、えびのに帰って来て仕事をやっていきたいです。



**宮原 佑輔 さん**  
【上江中学校 2 年】

家が畜産農家をしています。今回の口蹄疫で口蹄疫の恐ろしさなどいろいろな事を学びました。僕は、将来獣医師になりたいと思います。獣医師になり口蹄疫のワクチンなど開発できたらと思います。また、えびのをを中心に活動できたらと思います。それは、緊急事態にすぐ駆けつけられることができるからです。今は勉強が苦手ですが、少しでも夢に近づけるようがんばりたいと思います。



**山下 千穂 さん**  
【飯野小学校 6 年】

小学校 5 年生の時から、私は保育士になりたいと思っています。小さい子どもが好きで、休み時間など下級生と一緒に遊ぶのが好きです。保育士になればみんなから慕われ、笑顔が絶えない先生になりたいです。自然豊かなえびのが好きです。将来は、えびので保育士の仕事ができればと思います。また、お店などが少ないのでもう少し増えてればと思います。



**小畑 晴奈 さん**  
【加久藤中学校 3 年】

私は、将来看護師になりたいです。私は 6 歳の時、がんという病気でお母さんを失いました。お母さんと同じ病気を持つ人達を、1 人でも多く助けてあげたいと思っています。6 歳のころから将来看護師になろうと決めています。えびのは、自然豊かで温泉があり、景色や星がきれいで、多くの人が住みたくなるような市です。私も 10 年後はえびので看護師になれていたらと思います。



**岡園 隆暉 さん**  
【真幸小学校 6 年】

父親が養鶏をやっているので将来は父親の跡を継ぎたいと思います。跡を継いで親孝行をたくさんしたいと思っています。学校の登下校でいろいろな人があいさつをたくさんしてくれます。そんな温かい人がたくさんいるえびのが好きです。10 年後のえびの市は、子どもがたくさんいるまちになってもらいたいです。たくさん子どもがいれば、それだけ多くの友達ができるからです。



**田中 景子 さん**  
【飯野中学校 3 年】

私は、テレビでスポーツ選手や医師が子どものために何かをするドキュメンタリー番組を見て、私もそういう人になれたらいいなと思っています。今は具体的にこの職業とは決まっていますが、子どもに夢を与えることのできる仕事に就きたいと思っています。えびので生まれ育ち、えびのは安心してできることです。10 年後は、えびので働ければと思います。

市制施行 40 周年記念式典  
【期日】 11 月 28 日 (日)  
【時間】 午前 10 時  
【場所】 市文化センター

市では、「ありがとう！夢をつないで 40 年」をキャッチフレーズに市制 40 周年を盛り上げるさまざまな催しを行っています。このキャッチフレーズには、えびの市が市制施行 40 周年を迎えることができたのは、先人や多くの方々のがんばりがあったおかげ。それに対する感謝の気持ち。そして、先人がつないできてくれた夢を、これからの未来へとつなげて行くこうメッセージが込められています。市制 40 年と共にそれぞれの道を 40 年間歩んでこられた方の話は、未来へのバトンとして、「未来のわたし」として夢を話してくれた子どもたちは、これからそのバトンを未来へつないでいくランナーとして走っていきます。えびの市は、誕生してまだ 40 年です。これから先、市制 50 年、60 年に向け、市民の皆さんと共に一歩一歩、歩み続けます。

i n t e r v i e w  
〔未来のわたし〕

市制 40 周年から次の市制 50 周年に向け、将来のえびの市を担う子どもたちに、将来の夢やこの先(10 年後)のえびの市像について話を聞きました。



『新米食べるの楽しみ。  
霧島連山に行ってみよう』

山本剛士さん・早織さんご夫妻  
[来場者/大阪市在住]

宮崎県は食べ物おいしい印象です。米の試食や焼酎の試飲をしましたが、とてもおいしかったです。抽選会で新米5kgが当たったので、帰って食べるのがとても楽しみです。えびの市には行ったことがありませんが、霧島連山に行きたいと思いました。



『故郷の元気感じた。  
このつながりを大切に』

梶原起久子さん  
[近畿在住えびの市出身者]

物産フェアは、私たちえびの市出身者もお手伝いをさせてもらいました。お手伝いの中で、私たちが故郷の元気ももらいました。多くの方にえびの市を知ってもらい、大成功だったと思います。今回できたつながりを、今後も大切にしたいですね。故郷えびの市を応援しています。



『不安もあったが大成功。  
これを今後の糧に』

西井民雄さん  
[えびの市物産振興協会]

大都市での市単独の物産フェアは初めてで、不安もありましたが、関係団体一丸となったことで大盛況となり、本当に良かったです。えびの市を広く宣伝できたのではないのでしょうか。反省点もありますが、今後の教訓とし、今後も定期的に開催していければいいですね。

順調に進んでいます。3日間、元気で魅力あるえびの市、宮崎県を宣伝できるような「がんばりたい」とあいさつ。その後、関係者によるテープカットを行い、物産フェアがオープンしました。

物産フェアでは、とれたてのえびの産ひのひかりをはじめ、野菜、宮崎牛、畜産加工品、その他特産品などが所狭しと並べられました。また、観光パンフレットなども配布して、えびの市の魅力を宣伝しました。訪れた人たちは、米や肉の試食、焼酎の試飲を楽しみながら品定め。初日から最終日まで、人が途切れないほどの大盛況でした。

期間中、近畿在住えびの市出身者の皆さんをはじめ、関

今回の物産フェアは、口蹄疫の終息宣言後、順調に復興していることを全国に情報発信すること、えびの市の農畜産物や物産品、観光資源を宣伝する目的で行われたものです。

えびの市単独で大都市での物産フェア開催は初めてです。市のほか、J A えびの市、えびの市物産振興協会、えびの市観光協会、えびの市商工会、近畿在住えびの市出身者など、多くの方々の協力により開催されました。



1=3日間、多くの人でにぎわった物産フェア 2=スポーツニッポン新聞社大阪本社に、村岡市長から感謝状が贈られました 3=抽選会で新米5kgが当たり喜ぶ来場者 4=故郷のためにチラシを配るえびの市出身者 5=チラシは物産フェアの案内だけでなく、裏面にはえびの市の見どころなども紹介 6=ポスターやのぼり旗も作成し、えびの市を宣伝 7=3日間会場前はいつも行列 8=人通りの多いところで物産フェアを宣伝 9・10=物産フェアで販売されたえびの産の野菜や宮崎牛 11=「みなほ」は大阪の子どもたちにも大人気 12=オープニングセレモニーでテープカットを行う関係者

関係者には、初の試みに、成功するかどうかが不安もありました。しかし、3日間の来場者数は約35000人、200万円以上を売り上げ、それ以上に、元気なえびの市を宣伝できたことに手ごたえを感じていました。

市では、これをきっかけとして、今後も機会があれば物産フェアを各地で行い、えびの市を宣伝していくこととしています。

係者は、人通りの多いところで「えびの市物産フェア開催中です。ぜひお越しください」と、チラシを配りながら物産フェアを宣伝。市制施行40周年マスコットキャラクターの「みなほ」も一緒に宣伝を行いました。

口蹄疫復興支援として、スポーツニッポン新聞社大阪本社およびスポニチプラザ大阪からは、会場を無料で貸していたいただきました。このことも、物産フェアの成功の大きな原動力となりました。

15日に行われたオープニングセレモニーで、同実行委員会の迫田黙太郎実行委員長が「宮崎県では、4月から口蹄疫で大変な状況となっていていました。しかし、市民一丸となって防疫対策などに取り組み、おかげで復興対策も、

# えびの市の元気を 大阪で発信

10月15日から17日までの3日間、大阪市中央区のスポニチプラザ大阪で、「がんばるえびの市物産フェア」が開催されました。これはえびの市口蹄疫復興支援イベント実行委員会が、口蹄疫復興支援として行ったものです。その3日間の様子を紹介します。



市制施行40周年  
マスコットキャラクター  
みなほ

# 用語説明

## ■一般会計

福祉や教育、公園や道路建設などの市の基本的な事業を行う会計です。市税や地方交付税などを主な財源としています。

## ■特別会計

特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う会計です。市では、国民健康保険、観光などがこれに該当します。

## ■地方交付税

地方税などの自主財源だけでは財源が足りない地方自治体に対して国が交付するお金のことです。

## ■国庫支出金

国から地方自治体に交付される補助金や委託金などのことです。

## ■市債

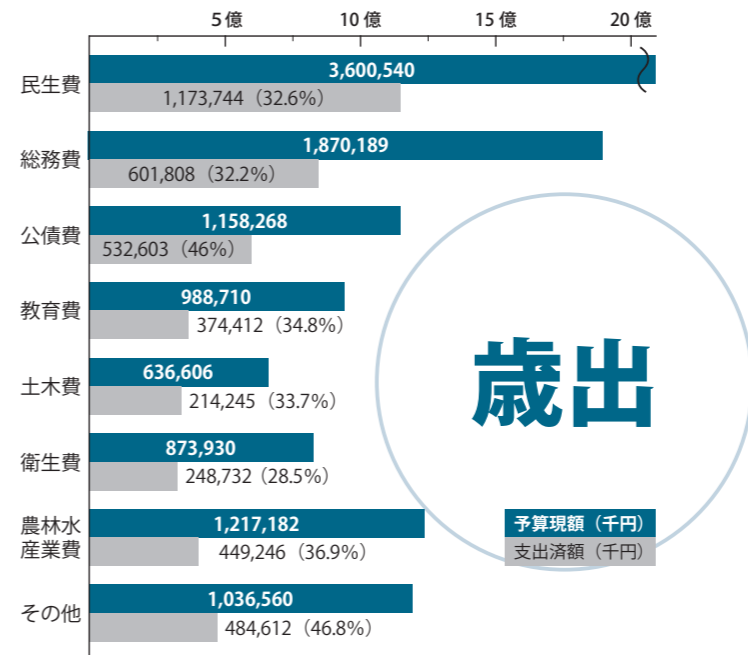
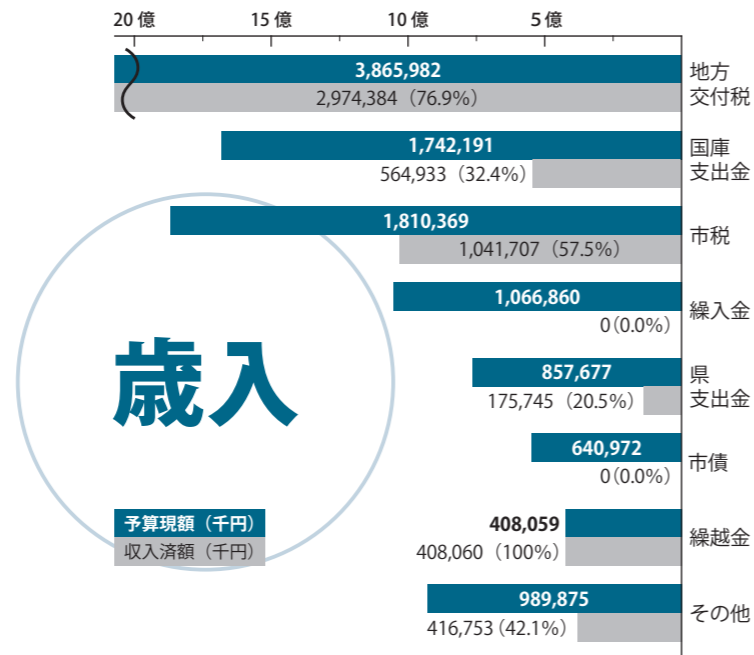
市がさまざまな事業を行うとき、長期にわたって借りるお金のことです。

## ■公債費

市債を返還するための経費のことです。

## ■お問い合わせ先

市財政課財政係  
☎ 35 - 1111 (内線 381)



## 【特別会計の予算執行状況】

会計	歳入		歳出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
国民健康保険特別会計	3,661,630	1,219,018	3,661,630	1,427,412
老人保健特別会計	5,204	1,270	5,204	61
観光特別会計	34,648	15,668	34,648	21,921
介護保険 保険事業勘定	2,746,636	1,358,688	2,746,636	1,090,333
特別会計 介護サービス事業勘定	18,360	7,996	18,360	6,867
後期高齢者医療特別会計	570,401	56,801	570,401	168,655
合計	7,036,879	2,659,441	7,036,879	2,715,249

※グラフは、それぞれ平成21年度からの繰越予算を含めた額です。  
 ※歳出予算の「その他」は、議会費、労働費、商工費、消防費、災害復旧費などです。  
 ※歳入予算の「その他」は、地方譲与税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、諸収入などです。

## 【市債の状況】

区分	現在高	前年同期残高
一般会計	7,183,842	7,818,434
水道事業会計	821,404	783,194
病院事業会計	49,122	54,886

平成22年度のえびの市の一般会計予算額(平成22年9月30日現在)は、歳入・歳出それぞれ107億527万円(対前年度同期比4.3%増)で、このほかに平成21年度からの予算の繰越が、6億7671万5千円あり、合計で113億8198万5千円(対前年度同期比4.1%増)となっています。この合計額に対して、平成22年9月30日現在の収入済額は、55億8158万2千円で収入済率49.1%、支出済額は40億7940万1千円で支出済率35.8%となっています。

# 予算の執行状況を公表します

# 水道事業



## ◎水道業務量

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)  
 給水戸数・・・8,649戸  
 給水人口・・・19,163人  
 上半期給水量・・・990,799 m<sup>3</sup>  
 1日平均給水量・・・5,414 m<sup>3</sup>  
 1人1日平均給水量・・・282.5 ㍉  
 普及率・・・76.7%

## ◎借入金残高 8億2,140万円

■お問い合わせ先：えびの市水道課経営管理係  
 ☎ 35 - 1111 (内線 291)

## 【事業収入に関する事項】

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
水道事業収益	336,641,000	168,794,570	168,794,570	50.1
営業収益	331,166,000	166,265,578	166,265,578	50.2
営業外収益	5,472,000	2,528,260	2,528,260	46.2
特別利益	3,000	732	732	24.4

収入の営業収益は、水道料金、手数料、水道加入金など。営業外収益は、預金利息、雑収益など。

## 【事業費用に関する事項】

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
水道事業費用	331,818,000	138,632,716	138,632,716	41.8
営業費用	309,430,000	128,772,220	128,772,220	41.6
営業外費用	21,885,000	9,860,496	9,860,496	45.1
特別損失	3,000	0	0	0.0
予備費	500,000	0	0	0.0

支出の営業費用は、浄水費、配水費、給水費、減価償却費など。営業外費用は、企業債の償還利息。

# 病院事業



## ◎病院業務量

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)  
 病床数・・・50床  
 入院患者数・・・延べ6,799人  
 外来患者数・・・延べ22,826人  
 入院1日平均・・・37.2人  
 外来1日平均・・・184.1人

## ◎借入金残高 49,122万円

■お問い合わせ先：えびの市立病院  
 ☎ 33 - 1023

## 【事業収入に関する事項】

区分	予算額	執行額		収入率 (%)
		上半期	累計	
病院事業収益	1,015,649,000	440,657,120	440,657,120	43.4
医業収益	934,923,000	439,355,160	439,355,160	47.0
医業外収益	80,725,000	1,301,960	1,301,960	1.6
特別利益	1,000	0	0	0.0

収入の医業収益は、入院収益・外来収益など。医業外収益は、一般会計補助金など。

## 【事業費用に関する事項】

区分	予算額	執行額		執行率 (%)
		上半期	累計	
病院事業費用	1,023,555,000	461,859,394	461,859,394	45.1
医業費用	1,021,320,000	461,112,789	461,112,789	45.2
医業外費用	2,034,000	746,605	746,605	36.7
特別損失	1,000	0	0	0.0
予備費	200,000	0	0	0.0

支出の医業費用は、給与費、材料代経費等。医業外経費は、企業債の償還利息など。

## 各地区ののど自慢が集結

第19回カラオケフェスティバル



親子で参加の外山義信さん・朱里さん

【団体の部】  
優勝Ⅱ上江地区、準優勝Ⅱ飯野地区、3位Ⅱ加久藤地区、敢闘賞Ⅱ真幸地区  
【個人の部】  
優勝Ⅱ近藤勇一さん(飯野



優勝した近藤勇一さん(飯野地区)

第19回公民館対抗カラオケフェスティバルが、10月30日市文化センターで行われました。各地区公民館の代表20人が自慢ののどを披露しました。  
親子で出場の外山義信さんは「私の方が緊張しました。娘は緊張せずに歌えていました」と話していました。

地区)、準優勝Ⅱ佐藤清生さん(加久藤地区)、第3位Ⅱ外山義信さん・朱里さん(飯野地区) 特別賞Ⅱ西幸一さん(上江地区)、飯田真子さん(上江地区)、堀口小夜子さん(上江地区)、田口宏明さん(真幸地区)

## 夫婦寄り添い50年

平成22年度金婚者祝賀会



謝辞を述べる大城戸さんご夫妻

金婚者祝賀会が、11月5日市文化センターで行われました。  
今年、37組の夫婦が式に参加しました。  
今年、金婚式を迎えたのは、昭和35年に結婚をし、50年目を迎えた夫婦です。祝賀会で村岡市長は「二人で歩いて来られた50年は、長いようで短かったと思います。これからも末長く歩き続けてください」とあいさつしました。  
祝賀会では、記念品の贈呈が行われたほか、園児た

ちなどによる踊りの披露や歌謡曲の披露などさまざまなアトラクションが行われました。  
37組の夫婦を代表して、大城戸留夫さん・光子さん夫婦(京町区)が「50年いろいろなことがありましたが、夫婦の協力助け合いで歩んでこれました。今後は、健康に気を付け歩んでいきたいと思えます」と謝辞を述べました。

## 笑いで伝えた男女共同参画

男女共同参画フォーラム in えびの



体験談を交え男女共同参画の落語をする笑福亭松枝さん

男女共同参画社会の形成に向け、10月31日、市文化センターで「男女共同参画フォーラム in えびの」が開催されました。  
このイベントは、男女が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を發揮することができ男女共同参加社会の形成を広く浸透させることを目的に開催されました。  
今年、えびの市制施行40周年を記念して、講師に落語家の笑福亭松枝氏が招かれました。

笑福亭松枝さんは「男女共同△で□じゃない○い世の中」と題し、「男女が人権を尊重し、責任を分かち合う社会」の在り方を自身の体験談を交え公演しました。  
参加者は、落語をとおして男女共同参画社会の在り方を感じとっていました。  
ある参加者は「日ごろ何気ない出来事にも男女共同でないことがあふれていることを知りました。落語を交えての公演は楽しく聞き入りました」と話していました。

## 日本ジオパーク認定。ますますの連携を

第7回環霧島会議



地域活動発表を聞く参加者

環霧島会議が、10月27日、えびの市文化センターで行われました。  
この会議は、霧島連山を囲む7市町が、環境、観光、防災、教育などについての連携、協働することを目的に行われています。  
会議で取り組んできた霧島山一帯の「日本ジオパーク」への認定も今年、実現しました。  
会議後に行われたイベントの部では、7市町の特徴を生かした地域活動発表が行われました。  
えびの市からは、商工会

青年部が中心となり構成する「湯きん実行委員会」が発表を行いました。  
発表で豊田寧仁さん(京町区)は「えびの市は、たくさんさんの温泉にも恵まれています。日本ジオパークにも認定され、これを機会に、えびの市全体の活性化につなげていきたい」と発表を行いました。  
湯きん実行委員会は、利用者の視点に立った「温泉マップ」を作成。市内外の人へえびの市の魅力を感じてもらうための活動を行っています。



えびの  
四季彩色  
Seasons Color of Ebino

が  
ん  
ば  
ろ  
う  
え  
び  
の  
花  
火  
大  
会

写真/2009京町温泉花火大会

11月27日(土) 午後6時～

(会場：川内川京町河川敷)

※小雨決行、荒天の場合は翌日に順延



えびの自慢のおいしい料理

◎今月一品  
(ういろう)

し し び

【材料】18切れ分  
米粉(グルテンなし).....200g  
砂糖.....200g  
片栗粉.....大さじ1  
塩.....6g  
水.....300cc

【作り方】

①米粉、砂糖、片栗粉、塩をボールに入れ、よくかき混ぜる。

②①の中に水を3回くらいに分け入れ、だまを作らないように混ぜ合わせる。

③耐熱容器に入れ、ラップをし、電子レンジ(500W)に2分30秒かける。

④電子レンジから取り出し、固まりかけをよく混ぜる。

⑤再びラップをし、電子レンジに5分30秒かける。

今月紹介するのは、平成22年度生涯学習ふるさと料理講座で作った、えびの産米粉を使った「ういろう」です。  
米粉は、小麦粉の代替品として最近注目を集めています。市でも米穀の新用途への利用を探索するとともに、利用を促進しています。  
今回の「ういろう」の調理のポイント  
は、電子レンジに2分30秒かけ、取り出した後、容器の底からまんべんなくかき混ぜることです。



【紹介者】  
ふるさと料理講座受講生の皆さん

えびのののの  
つまがまん  
「えびのうまいもの」  
vol.31



真剣なまなざしで指導を行う西山さん

# 西山剛さん

## 剣道を通じて 一生の宝を見つけてほしい

Tsuyoshi Nishiyama  
にしやま・つよし / 41歳 / 飯野駅前区  
／趣味は、剣道（暇があれば剣道の事を考えています）

「手の握り、足、姿勢」と熱のこもった指導を行うのは、えびの市青少年育成剣友会理事長を務める西山剛さん（駅前区）です。

昭和40年に設立されました。具体的な活動として、年2回（夏と冬）市内小中学生を対象とした剣道大会、真夏の練成げいこや12月に行う4日間の寒げいこなどがあります。西山さんと剣道との出会いは、小学校1年生の時です。

当時は体が弱く、父親の勧めもあり、剣道を始めました。今では剣道歴34年（剣道6段）です。西山さんは「本格的に指導者として子どもたちを教えるのは10年ぐらいいになります。指導にあたっては道場訓を柱に、剣道はもちろん、剣道以

外での勉強、礼儀などをおろそかにしない子どもを育成を心がけています」と話します。剣道を通じて子どもたちに伝えたいことを尋ねると「技術はもちろん伝えます。私は、試合などの勝ち負けよりも、真剣に行う試合などで、子どもたちに勝ち負け以上のもの

を見つけてもらいたいと思っています。また、日ごろの厳しい練習などを通じて仲間とのつながり、生涯をおとしたきずなどを見つけてもらいたいです」と話していました。現在、市内の道場・各学校の剣道部では、会員・部員を募集しています。

# がんばる！公民館

## 地区一丸となり 元気な町に

（中島自治公民館）



復活した蛭子神社での祭事

今年市制40周年を迎えますが市制施行のころは、中島地区も商店数も多く祇園祭り・花火大会などもあり活気がありました。大規模店の進出などで閉店する店が増え往年の面影が消え寂しくなっています。このまま放っておいたらますます沈滞し、「元気だった町」になりにかねません。そうならな

地区に加久藤村、八日町時代から商売の神様として崇められてきた蛭子神社があります。以前は祭りのたびに祭典を行っていましたが、ここしばらく途絶えていました。今年9月に近所の方々と地域・商売繁盛の願いをかけて祭事を行いました。もう1つの取り組みは、えびの駅の活性化です。吉都線は2年後に開通100周年を迎えます。駅舎は大正の初めにたてられた現在では数少ないレトロな駅舎です。今後は、駅周辺に桜や季節折々の花を植えイベント等を行い、人々のよりどころにしていきたいと考えています。

地域の若者が下を向くことなく顔を上げ、目はしっかりと前を見つめる元気な町を目指します。



中島自治公民館長 西園章二さん

◎自公連だより ※自公連・・・「自治公民館連絡協議会」の略称。



## ジオパーク発掘調査隊

その14

### ■第5回エアポートフォトコンテスト

霧島市溝辺総合支所では、フォトコンテストを行います。

【募集作品】

「世界にひらく 人と自然・歴史・文化がふれあう都市」という言葉から連想される飛行機をさまざまな角度からみていただき、鹿児島空港の魅力を市内外の方々に伝えることができる写真を広く募集します。また、空港で働く人々、出会い、別れなど空港を取り巻く様々な場面の写真も可とします。

【応募条件】

募集チラシにてご確認ください。（チラシは霧島市役所・霧島市各総合支所にて受け取るか、霧島市のホームページ（http://www.city-krishima.jp）からダウンロードできます）

【受付期間】  
12月6日（月）～12月24日（金）必着

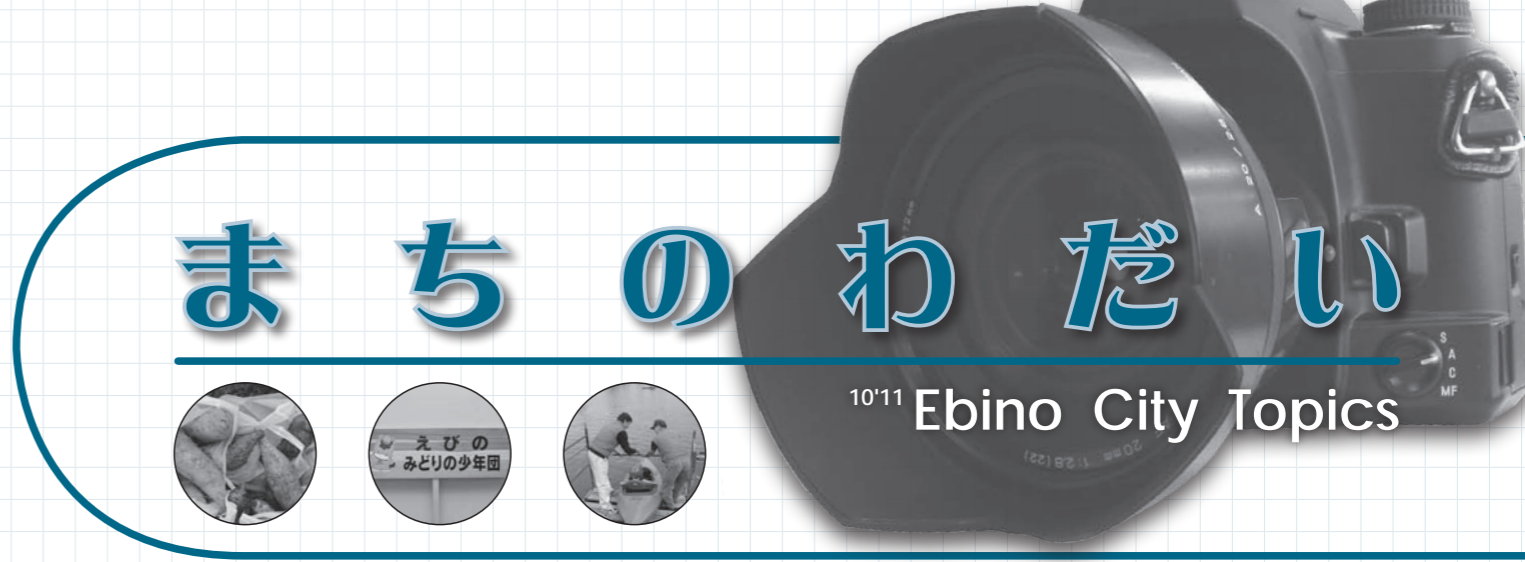
【賞】  
○市長賞1点 賞金5万円  
ほか  
○特選2点 賞金3万円ほか

○協賛社賞若干名 協賛各社グッズほか

【発表】  
平成23年1月下旬（入賞者には直接通知します）

【応募先】  
溝辺総合支所地域振興課「第5回霧島市エアポートフォトコンテスト事務局」  
〒899-6493  
溝辺町有川341  
または  
「企画政策課企画政策グループ」  
〒899-4394  
霧島市国分中央3丁目45

1 【問い合わせ先】  
霧島市溝辺総合支所地域振興課地域振興グループ  
☎0995(59)3111



● 好成績を収めました

球磨郡錦町のゼンカイミート株式会社で10月16日、宮崎ハーブ牛枝肉共進会が開催されました。えびの市からも共進会に出品。すばらしい成績を収めました。

今回は口蹄疫の影響もあり、出品頭数が例年より少なめでした。

- 【宮崎ハーブ牛部門】
- ◎最優秀賞 井上辰巳さん (南原田区)
- ◎優良賞 太田幸雄さん (東長江浦区)
- ◎宮崎ハーブ牛 (交雑部門)
- ◎最優秀賞 廣重秀則さん (出水区)
- ◎優秀賞 平岡伸夫さん (南原田区)
- ◎優良賞 前原義信さん (出水区)
- ◎優良賞 坊野典義さん (出水区)



交雑種部門で表彰を受ける廣重さん

● まちづくりのきっかけに

10月30・31日、宮崎大学教育文化学部根岸准教授ら16人が「京町温泉の活性化」というテーマで調査・分析した結果の報告会を行いました。

調査は、市が宮崎大学へ研究のテーマを提案し、実現したものです。京町温泉を外部の若い目線で分析することで、京町温泉が活性化することを期待しています。報告を行った伊地知夏生さん(大河平出身)は「地域全体での取り組みが必要ではないかと思えます。これをきっかけに京町温泉、えびの市全体が盛り上がりつつもあれば」と話していました。



参加者に説明を行う伊地知さん(左端)

● 日ごろの感謝を込めて

10月20日、(社)えびの市シルバー人材センターの会員約120人が、永山公園と市美化センター周辺の草払いとせん定のボランティアを行いました。

シルバー人材センターでは、毎年10月の全国一斉の「シルバー人材センター普及啓発月間」に合わせて、「シルバーの日」を設けています。この活動は、「シルバーの日」に合わせ、日ごろ利用している施設などを、感謝の意を込め清掃すると共に、同センターの活動を広く知ってもらうことを目的に毎年行っています。



美化センター周辺を選定する会員

● 秋雨の中の秋季観光祭

10月23日、グリーンパークえびのの会場に、秋季えびの観光祭が開催されました。

観光祭では、フリーマーケットや物産展、カヌー体験教室など多くの催しが行われました。あいにくの天候で熱気球体験搭乗は、中止されました。しかし、その他の催しでは、多くの人でにぎわっていました。会場西側に設置されたステージでは、市制40周年を記念して作られたマスコット「みなほ」も紹介されました。多くの子どもや家族連れなどがみなほと一緒に記念撮影などを行っていました。



カヌーを体験の様子

● 地球を救う森づくり

10月25日、えびの市緑の少年団の今村穂乃華さん(6年)、坂本侑里花さん(6年)、西峯千洋さん(6年)、押川晴佳さん(6年)、後藤綾乃さん(6年)が市長を訪問。第34回全国育樹祭での「みどりの奨励賞」受賞の報告と発表を行いました。

受賞の報告と発表を受け市長は「森の大切さなどいろいろな人に伝えていってください。これからも、植樹活動などがんばってください」とあいさつしました。この育樹祭は、森林などの大切さを次世代に伝えることなどを目的に毎年行われます。



みどりの少年団の5人と市長

● 全国6位の実力

11月5日、上江中学校新体操部の生徒7人が市長を訪問。第28回全日本ジュニア新体操選手権大会で6位入賞の報告を行いました。

6位の入賞は、上江中学校新体操部の新記録で、昨年の7位を上回ります。代表して主将の向井将成さん(3年)が「いろいろな方に支えてもらい全国でいい成績を取ることができました。ありがとうございます」と報告をしました。報告を受け市長は「全国6位は胸を張って誇れることです。これからもがんばってください」とあいさつしました。



報告を行った生徒7人と市長、教育長

● 紅葉の中を散策

11月7日、えびの白鳥観光祭が、白鳥温泉上湯・下湯、白鳥神社を会場に行われました。

観光祭は、紅葉真っ盛りの白鳥森林公園を満喫してもらうことと、白鳥地区の観光促進を図ることを目的に毎年行われています。今年は、市内外から約1000人の観光客が訪れにぎわいました。白鳥温泉下湯では、ジャンボカボチャの展示や地元特産品が当たる抽選会などが行われました。紅葉ウォークラリー参加者は、白鳥森林公園周辺の紅葉を写真に納めるなど、散策を楽しんでいました。



紅葉を楽しむ参加者

information

# お知らせ コーナー

## ・お知らせ・

### ご利用ください。市中小企業融資預託年末資金

市では、中小企業の振興に寄与することを目的に、市内商工業者に対して、年末に必要な資金を融資します。

【申込受付期間】11月8日(月)～12月24日(金)

【申込方法】申込受付期間内に、借入申込書をえびの市商工会を経由して取扱金融機関に提出してください。

【融資対象者】市内商工業者

【資金の用途】運転資金

【融資限度額】200万円以内

【融資期間】平成22年11月8日(月)～平成23年3月9日(水)

【融資利率】年3.3%  
※うち2.9%の利子を市が負担します。

【保証人】1人以上

【償還方法】取扱金融機関が定めます。

【取扱金融機関】高鍋信用金庫(飯野支店、加久藤支店) 宮崎銀行(飯野支店、真幸支店) 市観光商工課企業誘致・商工振興室 内線333

### 申請ください。NHK放送受信料免除

障害者手帳の交付を受けた方で、下記の要件を満たす方はNHK放送受信料の減免を受け

ることができます。

○申請者の条件

【全額免除】  
「身体障害手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」のいずれかの交付を受けている方が世帯構成員であり、世帯全員が『市町村民税非課税』の場合。

【半額免除】  
・身障手帳の視覚または聴覚を持っている方が世帯主で受診契約者の場合  
・身障手帳の1～2級を持っている方が世帯主で受診契約者の場合  
・療育手帳Aを持っている方が世帯主で受診契約者の場合  
・精神障害者保健福祉手帳1級を持っている方が、世帯主で受診契約者の場合

市福祉事務所福祉係 ☎内線261

### 未来のためにみんなで投票

12月26日(日)は、宮崎県知事選挙の投票日です。

投票所入場券(ハガキ式)は、1人につき1枚届きますので、投票日には投票所入場券をご持参ください。

【投票日】12月26日(日)

【場所】入場券で指定された投票所

【投票日の投票時間】午前7時から午後6時(えびの市は午後6時までです)  
※投票日当日、不在等で投票できない方は、下記のとおり期日前投票ができます。投票所入場券をご持参ください。

【期日前投票のできる期間】12月10日(金)～12月25日(土)

【時間】午前8時30分～午後8時  
※土・日曜日でも期日前投票ができます。

【場所】市役所本庁1階(1-1会議室)  
市選挙管理委員会事務局 内線421・422

## ・募集・

### クリスマスパーティー参加者募集

えびの市次世代を支援する会では、20歳以上の独身社会人の方を対象に、クリスマスパーティーを開催します。出会いの場として軽食やお茶を取りながら交流を深めませんか。

【期日】12月11日(土)

【時間】午後5時30分受付開始

【会場】グリーンパークえびの

【定員】男性15人(えびの市在住者) 女性15人

【参加料】男性1,500円 女性1,000円

【申込方法】FAXか電子メールで申し込みください。  
[FAX] 0984 - 35 - 0401  
[メールアドレス] fukushi@city.ebino.lg.jp

市福祉事務所子育て支援係 内線269

### しめ縄づくり体験教室参加者募集

市歴史民俗資料館では、しめ縄づくり体験教室を開催します。来年のお正月は手づくりのしめ縄を飾ってみませんか。

【期日】12月18日(土)

【時間】午後1時～午後3時

【場所】市民図書館学習室

【定員】20人  
※10人に満たない場合は取りやめることもあります。  
※申込者多数の場合は抽選になります。

【参加費】100円(保険料)

【申込締切】12月14日(火)  
市歴史民俗資料館 ☎35-3144

### 楽しい夜を過ごしませんか。国際交流クリスマスパーティー

えびの市内の小学校3～6年生を対象に「クリスマスパーティー」を開催します。外国の人たちや参加する友達と交流し、友情を深めながら、クリスマスと一緒に楽しみませんか。

【期日】12月18日(土)

【時間】午後5時30分～午後8時30分

【会場】えびの市国際交流センター

【内容】クリスマス行事・簡単な英会話・軽スポーツ

【講師】えびの・小林市語学指導助手(ALT)

【参加者】市内在住小学校3～6年生

【定員】30人

【参加料】1,500円(軽食・プレゼント等)

【申込方法】電話またはFAX

で市国際交流センターに申し込みください。

【申込期限】12月6日(月)  
市国際交流センター ☎35-3211  
FAX 35-3215

### 竹の子生産研修会参加者募集

竹林管理方法や竹の子生産拡大を図るため、宮崎県竹産業連合会では、研修会を行います。竹林についての知識習得や管理技術を学びませんか。

【期日】12月7日(火)

【時間】午後1時～午後4時

【会場】飯野地区公民館(室内)、現地

【参加料】無料

【申込方法】前日までに市畜産農林課林務係または農産園芸係に電話で申し込んでください。  
参加を希望される方は資料等の準備がありますので事前に申し込みください。

市畜産農林課林務係・農産園芸係 内線221・223

### 子育て支援NPO法人募集

高原町は、公益的な活動に取り組むNPO主導による地域の実情に沿った創意工夫ある子育て支援活動を推進しています。地域での子育て力を育むことを目的として「高原町地域子育て創生事業」を委託するNPO法人を公募します。

【公募期間】12月1日～20日

【書類提出期限】12月20日

【委託額】定額(上限1,000千円)

【公募対象者】平成22年4月1日現在で、西諸管内に事務所または事業所を有するNPO法人

※事業の詳細等については、高原町ホームページ(<http://www.town.takaharu.lg.jp>)に掲載しています。

市高原町役場 町民福祉課 福祉係 ☎0984-42-2111(代表)

## 119 だより



### 新規配属職員の紹介

10月12日から新人2人が、えびの署に配属になりました。



重留良次  
(東川北区出身)  
日々努力し、地域に貢献できるようにがんばります。



廣澤俊  
(東川北区出身)  
すごい先輩方に早く追いつけるようにがんばります。

10月の活動状況 [えびの消防署管内]	火災	0件	年計	5件
	救急	68件	年計	578件

■えびの消防署 ☎33-6119

## 110 だより



### 高齢者の交通事故が増えています

県内の交通事故発生状況は、10月末現在死者数が43人(昨年比-12人)と減少していますが、その内25人(約58%)が65歳の高齢者です。

10月中には、宮崎市内で夜間連続して道路横断中の高齢者が車にはねられる交通事故が発生しています。

#### 運転者側の留意点

○ライトの早めの点灯、こまめな切り替え

#### 歩行者側の留意点

○反射材の活用と明るい色の服装の着用  
○横断歩道の利用と横断時の左右の安全確認を確実に

夜間の歩行者(特に高齢者)の交通事故防止に努めましょう。

10月の交通事故発生状況	人身	9件	年計	100件
	物件	28件	年計	252件

■えびの警察署 ☎33-0110

## 心の一首一句

【短歌】

敬老の日孫の電話の優しさに

仰ぐ夜空の十三夜月

栗下区 長谷タツエ

日の光に秋を、空の高さも、また秋！。  
大寒小寒の霜月を迎え、ものがなしさを覚える頃、お孫さんからの電話に心温まる思いで、夜空を仰げば旧曆九月十三日の夜の月で古来より最も美しい月とされている日本固有の月の夜であった。作者の詩情、感性、心のやさしさの表れた詠である。  
(評 竹下妙子)

【俳句】

師の葬のあと追ひかけて北の風

京町区 押領司勝

昨年2月、俳句の指導を受けていた先生が亡くなった。市役所を退職、茫然としていた私に俳句をすすめてくれた先生だった。もとより俳句知識に乏しい私が、何とか人前に出せるものが作れるようになったのは先生の指導のおかげである。  
今年もあとわずか、明ければもう三回忌である。  
(自註)

【詩】

「いつものように」

白鳥区

西幸一

日常なにげなく行う行動  
季節を忘れず毎年咲く花々  
そして故郷の川に遡上する鮭、  
産卵に来るウミガメ  
この世は雨七日陽七日風七日と  
生前母がときたま口にしていたが  
自然界だけでなく人間界にも通ずる  
言葉とも思う  
いつものようになにげなくを繰り返す事が  
できなくなった時、人は不安を感じ  
咲く花々帰る鮭等の生命維持も  
難しくなりつつあるのだらうか？

あなたもつくってみませんか。

(短歌) 竹下妙子さん ☎ 0984 - 37 - 3056

(俳句) 阿野文雄さん ☎ 0984 - 37 - 1653

(詩) ポエム同好会 (市田寛幸さん) ☎ 0984 - 37 - 2528 まで。

ありますか、好きだと言える一冊が。

## おすすめの 一冊



### 『D列車でいこう』

阿川大樹 / 著  
(徳間文庫)

廃線が決定したローカル鉄道を立て直すため、鉄道にはシロウトでよそ者の3人の男女が立ち上がる。才色兼備でMBA取得の女性ミュージシャン、良心的な融資を誇りにしてきた元銀行支店長、そして鉄道オタクのリタイア官僚。彼らが繰り出す夢いっぱいのアイデアに地元の人々も巻き込まれ、協力者となって行く。

そんな彼らの思いにあなたも風を起こしたくなるのでは。

BOOK CORNER

■推薦：市民図書館

### Editor's

◎編集後記

特集の取材で、えびの市の歩みについて、あらためて知ることができました。知らなかった歴史を取材先で聞いたり、過去の広報を見たりしました。大変になりました。最近寒くなりましたので、風邪などをひかないよう気をつけてください。(川野)

広報えびの10月号の「守ろう貴重な水資源」の表中に誤りがありました。環境基準 BOD・2 以上、SS・25 以上となっていました。それぞれ 2 以下、25 以下の誤りです。お詫びして、訂正します。

#### ◎えびの市の人口

男性 / 10,044 人 (-12人)      転入 / 28 人  
女性 / 11,408 人 (-12人)      転出 / 51 人  
合計 / 21,452 人 (-24人)      出生 / 19 人

#### ◎えびの市の世帯数

9,186 世帯 (-4 世帯)      死亡 / 20 人

(平成 22 年 11 月 1 日現在)

今月の  
納税

国民健康保険税 第 5 期

11 月 30 日までに納めましょう。

## いきいき!健康

Let's Lead A Healthy Life!

### 手洗い・うがいでできていますか

■藤嶋栄養士 (健康保険課)



秋から冬にかけては、風邪などの感染症やノロウイルスによる食中毒が流行しやすい時期です。ノロウイルスは手指や食品などから口を通して感染し、嘔吐や下痢、腹痛などを起こします。

これらの予防に、もっとも効果的で簡単な方法は『手洗い』です。「寒いから」「めんどうだ」という理由で、指先だけさっと水で流すような手洗いをしていませんか?これでは洗っていない部分が多く手洗いをしていないのとほとんど変わりません。外出後やトイレの後、食事の前などは、しっかり手を洗う習慣をつけましょう。

#### 【正しい『手洗い』の仕方】

一見汚れていないように見えても、手や指には目に見えない汚れやウイルスなどがついています。水だけで簡単に洗うのではなく、せっけんなどを使い、時間をかけて手全体を洗うよう

にしましょう。

(手の洗い方)

- ①手をぬらし、せっけんをつけて泡立てる。
- ②指先から手首まで指の腹を使ってこする。
- ③指を組んで指の間をこすりあわせる。
- ④親指を握り、つけ根から指先まで洗う。
- ⑤手のひらをひかくようにして爪を洗う。
- ⑥片手で手首を握り、回して洗う。
- ⑦水で流しながらせっけんをおとす。

また、体の外と中をつなぐ最も大きな部分が口です。風邪のウイルスは口の中だけでなく、のどにもつくので体内に入らないように、『うがい』をすることも効果的な予防法です。

『うがい』をするときは、歯をみがいた後にするような「ブクブクうがい」ではなく、のどまで洗う「ガラガラうがい」をしましょう。

参考資料:「食育ブック」少年写真新聞社

## くらしのめも

### 悪質商法、振り込め詐欺にご注意

近年、悪質商法や振り込め詐欺、商品事故、食品偽造などさまざまな消費者問題が発生しています。

このようなトラブルに関して困った時、相談出来る「消費生活センター」があります。

消費者センターとは地方公共団体が運営する「消費者のための相談業務を行う機関」で多重債務など消費生活での悩みや苦情に応じ問題解決の手助けをします。相談は無料です。相談内容が外部に漏れることはありません。

主な相談は

- ・商品購入等で生じた苦情相談
- ・消費者事故(製品事故に起因する消費者被害を含む)に関する相談
- ・商品やサービスの知識・購入方法に関する相談
- ・日常の消費者生活のあり方など消費生活全般にわた

る相談など

専門の職員や相談員が受け、問題解決の助言や情報提供あっせんなどをします。

一人で悩まず早めに専門家や市町村の窓口にご相談しましょう。

#### 【問い合わせ先】

宮崎県消費生活センター

☎ (0986) 25-0999

都城地方消費者センター

☎ (0986) 24-0999

市民課生活環境係

☎ (0984) 35-1111 (内線 285)

文:くらしのアドバイザー杉元美知子さん(西川北区)

# ふるさと散歩

Furusato-sanpo

145

## 三徳院所蔵の琵琶撥

栗下地区にある三徳院は、天台宗・常楽院法流に属する地神盲僧寺です。

島津義弘と伊東義祐の間で行われた「木崎原の戦い」元龜三年（一五七二年）では、島津義弘が大勝しました。永禄年間（二五五八年～一五六九年）、三徳院の盲僧・菊一（真盛）は、島津義弘の密命をうけ菱刈、小林、須木、野尻城下までも潜入し密偵の功をたてました。

その功を受け、天正三年（二五七五年）島津義弘が白鳥権現を参拝した時、栗下本町の現在地を直々に拝領し、寺院が建立されました。

三徳院は、史跡として昭和六十年（一九八五年）三月十一日に市指定文化財となっています。

す。

平成二十一年二月十九日、日本の琵琶を研究している武蔵野音楽大学の薦田治子教授が、三徳院で所蔵している薩摩盲僧琵琶撥を調査しました。その結果、この琵琶撥は、大変貴重なものであることが分かりました。

調査で明らかになったことは、次のとおりです。

①作者と制作年代が柄の部分に掘られている。

作者「日向国諸県郡之内綾於中道村二作之 作者兼府住人平季直 此主綾之住人徳永慶順」

制作月日「享保二十年（二七三五年）卯六月吉拜日」  
二七五年前に作られたものではないか。

②特別に大きい。

撥の長さが二三・五センチ、撥先の開きが四八センチ、重さが二九〇グラム。撥先が大きく広がっているところは、今日の薩摩琵琶の撥に近い形をしている。

③撥面に和歌が彫られている。

（原歌と作者）「武蔵野やゆけども秋のはてぞなきいかなる風か末に吹くらん」（源通光）、「行き暮れて木の下影を宿とせば花や今宵の主ならまし」（平忠度・平家物語）

④薩摩琵琶の撥は、本来、ツゲが使用されているが、この撥は椿で作られている。

撥は、現在、えびの市歴史民俗資料館の常設展示場で展示保管されています。

（文）市歴史民俗資料館



琵琶と撥（写真左）、撥の両面（写真右）